



東 校 だ よ り 東 の 風

平成30年度 第6号 9月28日
発行責任者 丸 山 周 二

「笑顔が輝き 笑顔につながる 東小」

- なかよく……豊かな心を持ち 思いやりのある子
- かしく……自ら考え 進んで学ぶ子
- たくましく……素直で明るく 健康な子
- がんばる……気力をひめ 精いっぱいがんばる子

<http://www.ueis.ed.jp/school/higashi/>

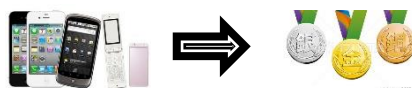
「ホストタウン・メダルプロジェクト in 栃木」 キックオフイベントが東小学校で開催されました！

9/18（火）本校体育館にて「ホストタウン・メダルプロジェクト in 栃木」キックオフイベントが行われました。

「ホストタウン」とは、東京オリンピック・パラリンピックで訪れる外国選手を受け入れ、様々なサポートを行う事業です。栃木県は、ハンガリー選手団を受け入れる予定だそうです。

「メダルプロジェクト」とは、家庭等に眠っている携帯やスマートフォンを回収し、中に含まれている金属から金・銀・銅メダルを作る取り組みです。県内すべての小・中学校に回収ボックスを設置する予定で、その代表校として本校が選ばれ、国から新妻秀規大臣政務官、県から福田富一知事、宇田貞夫教育長が来校し、贈呈式が行われました。この様子は、テレビや新聞等で大きく採り上げられました。（テレビのニュースを見逃してしまった子どもたちのために、3・6年生の保護者の方がわざわざDVDにして学校に持ってきてくださいました。給食時に全校児童で楽しく視聴しました。ありがとうございました。）回収箱は、東小学校南校舎2階職員室内に設置しました。回収に協力いただく際は、下記の点にご留意ください。多くの皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1. 回収できる小型家電は、携帯電話とスマートフォンになります。
2. 可能な限りデータ等を消去してから回収箱に入れてください。
3. 一度回収されたものは、返却できませんのでご注意ください。
4. 今年度中（平成31年3月22日まで）職員室内に回収箱を設置しておく予定です。
5. スマホ等所持に関する児童生徒指導上の配慮から、回収に当たっては、回収期間中の来校時に持参いただき、回収箱に直接お入れください。（本校職員にお声かけください）



左から、校長、6年藤井晴生さん、新妻秀規 政務官、福田富一知事、宇田貞夫教育長。



イベント終了後、全員で記念写真を撮影しました。

おじいさん・おばあさん、いつまでもお元気で！（敬老会）

9月15日（土）に、本校体育館で敬老会が行われました。式典後のアトラクションの部で本校児童が活躍してくれました。

和太鼓クラブの子どもたちは、「男体おろし」「風の子まつり太鼓」の2曲を堂々と披露しました。

合唱部は、ジュニア芸術祭参加曲でもある「結一ゆい」「青の記念日」の2曲を披露した後、会場のおじいさん・おばあさんと一緒に手遊び歌「うさぎとかめ」「しあわせなら手をたたこう」を歌いました。

どちらもとても素晴らしい発表で、会場のお年寄りたちから多くの拍手をいただきました。参加してくれた子どもたち、お疲れ様でした。ありがとう！



和太鼓クラブの発表の様子です。迫力満点の演奏でした。

合唱部の発表の様子です。手遊び歌に合わせ、お年寄りの皆さんもノリノリでした。



いじめゼロ強調月間

9月は、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、宇都宮市内全小中学校、全教職員が「いじめは絶対に許さない」という共通認識のもと、いじめ対策への取り組みを充実させ、いじめの根絶を目指す「いじめゼロ強調月間」です。

本校では、いじめアンケート調査のほか、学級や学校全体で様々な取組を行い、一人一人が*いじめは絶対に許されない*という強い気持ちを持ち、学校全体でいじめを撲滅しようとする雰囲気醸成しています。

いじめゼロ強調月間における主な取組



- いじめゼロ強調月間スローガン「いじめゼロ しない 負けない 許さない」の掲示
- いじめゼロシール（なかよしシール）の着用
- いじめアンケートの実施
- 道徳（「生命の大切さ」「思いやり」）の授業及び学級活動等の時間におけるいじめについての話し合い
- 「いじめゼロ」キャッチフレーズ作成と「いじめゼロ集会」の実施

(1)各学年の「いじめゼロ」キャッチフレーズ

- 1年生：ともだちのきもちをよくかんがえよう。やさしいことばをつかおう。
- 2年生：あい手の気持ちを考えて、ごめんなさいはすぐ言います。友だちがよろこぶことをします。
- 3年生：やさしい気持ちで相手を思い、自分がやられていやなことはしない。
イライラしても5秒待ち、フワフワことばでかえす。
- 4年生：明るい心と 輝く勇気で 立ち向かおう
- 5年生：いつでも相手の気持ちを考えます。どんな時も自分の行動に責任をもちます。
毎日いじめをしないで楽しく過ごします。
- 6年生：全員仲間だ つなぎ合えるよ 心と心



(2)「いじめゼロ集会」【9月19日（水）実施】の様子



クラスごとに、「いじめゼロ」キャッチフレーズを発表しました。左は2年生、右は4年生の発表の様子です。

全クラスのキャッチフレーズをみんなで確認しました。



道徳教育と「特別の教科 道徳」(道徳科)

学習指導要領の改訂に伴って、新たに「特別の教科 道徳」(道徳科)が創設されたことは、ご存知のことと思います。各教科等では、平成32年度の全面実施に向けた移行措置が行われておりますが、この道徳科におきましては、新学習指導要領の趣旨を先取りして、今年度から全面実施されております。

道徳教育は、これまで各教科・総合的な学習の時間・特別活動など全ての教育活動を通じて行われてきました。この道徳教育の重要性は、新学習指導要領においても引き継がれ、「自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことが目標になっています。

そして道徳の授業は、教科外の特設時間「道徳の時間」として週1時間実施され、道徳教育の要として重要視されてきました。道徳科においても、その基本的な考え方は同じです。しかしながら、今回教科としての位置づけの背景には「いじめ問題への対応」「情報モラルに関する指導の充実」等があり、道徳的な判断力・心情・実践意欲や態度を育てるためにこれまで以上に発達段階に応じた充実した授業を実践することが求められています。即ち、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人が自分自身の問題として捉え、向き合えるような「考える道徳」「議論する道徳」を充実させることが重要となります。

また、道徳科の評価の具体的な在り方については、

- 数値による評価ではなく、記述式で評価する。
- 児童がいかに成長したかを積極的に受け止めて、認め励ます個人内評価を行う。
- 学習活動において、児童がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視した評価を行う。

とされています。1学期末には、通知表に道徳科の記述欄を設け、①1学期間の学習を通して成長の様子が顕著に認められた場面を中心に道徳科の授業でどのような学習の様子がみられ(学習状況の様子)、②いかに道徳的価値の理解を深めようとしていたか、自分との関わりで考えていたか(成長の様子)について、より具体的に分かりやすい文章でお知らせする予定です。どうぞ、お子さんとともにご確認ください。

